

市町村、保健所、委託医療機関による肝炎ウイルス検査を実施することで、肝炎ウイルス検査の検査体制の整備を図ります。また、陽性者を精密検査や適切な医療につなぐために、フォローアップの体制を充実させます。

肝炎に関する正しい知識の普及啓発や陽性者フォローアップの強化のため、肝炎医療コーディネーターの育成や活躍の推進を行います。

二次保健医療圏ごとの肝疾患専門医療機関数を維持し、県内全域において個々の病態に応じた肝疾患の治療が受けられる体制の整備に努めます。また、肝疾患診療連携拠点病院である奈良県立医科大学附属病院においては、肝疾患相談センターでの患者や医療機関からの相談対応をはじめ、市町村や地域への支援、人材育成などの取組の強化や、専門医療機関及びかかりつけ医との共同による地域での肝炎診療ネットワークの推進を行います。

(数値目標)

(1) 数値目標の詳細

新興感染症に備えた医療提供体制

区分		流行初期	流行初期以降
協定締結医療機関(入院)の確保病床数 (感染症病症含む)		368 床	566 床
	うち、重症者病床	27 床	36 床
協定締結医療機関(発熱外来)の確保医療機関数		237 機関	252 機関
協定締結医療機関(自宅療養者等への医療の提供)の機関数			558 機関
協定締結医療機関(後方支援)の機関数			37 機関
協定締結医療機関(人材派遣)の確保人数			156 人
	感染症医療担当従事者		57 人
	感染症予防等業務対応関係者		99 人

(2) 評価と公表

本計画での施策の進捗状況は、毎年評価を行い、奈良県ホームページに公表します。また、数値目標の達成状況、現状把握に用いた指標の状況について、3年後を目途に調査、分析及び評価を行い、奈良県ホームページに公表します。